

消防だより

令和6年(2024年)
8月末現在の出動件数

有田川町消防本部 52・5950
吉備金屋消防署 52・5950
清水消防署 25・1243

火災 : 4件
救急 : 948件
救助 : 12件

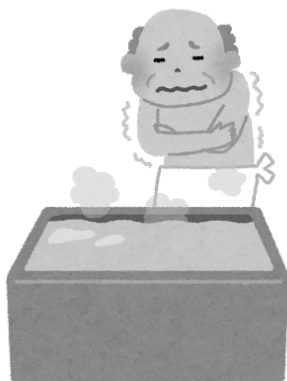
令和6年度全国統一防火標語 「守りたい 未来があるから 火の用心」

高齢者の入浴中の事故に注意

これから寒い時期にかけて多くなるのが、高齢者の入浴中の事故です。

寒い時期に入浴中の事故が多くなる原因の一つは、ヒートショックです。ヒートショックとは、急な温度変化により急激に血圧が上下することとで、心臓や血管などに大きな負担がかかる状態のことです。ヒートショックになると、意識喪失や脳梗塞、心筋梗塞などが発生しやすくなります。特に浴槽内では、溺水につながる可能性があります。十分注意が必要です。以上のことから寒い時期に入浴する際は、次の6つの対策を心掛けましょう。

- ・入浴前に脱衣所や浴室を温めておく。
- ・湯温は41度以下、お湯に漬かる時間は10分までを目安にする。
- ・浴槽から急に立ち上がらない。
- ・食後すぐの入浴や飲酒後、医薬品



服用後の入浴は避ける。

- ・お風呂に入る前は、同居する家族にひと声掛ける。
- ・家族は入浴中の高齢者の動向に注意する。

もし、浴槽でぐったりしている人を発見した場合、入浴者を浴槽から出してください。浴槽から出せない場合は、浴槽の水を抜き、顔がお湯に漬からないようにしてください。また、直ちに救急車を要請し、必要であれば心肺蘇生を行ってください。

セルフスタンドでの注意点

セルフスタンドで顧客自らがガソリンを携行缶に詰め替えて購入することは、消防法令で禁止されています。セルフスタンドでガソリンを携行缶に詰め替えることができるのは従業員のみのみです。購入の際には必ず従業員に声を掛け、携行缶に詰め替えてもらいましょう。また、会社の方針によりガソリンを携行缶へ詰め替えて販売していないセルフスタンドもありますので注意してください。

※ガソリンを携行缶に詰め替える場合は、必ず消防法令の基準に適合した容器を使用してください。KHKマーク、UNマークの付された容器は消防法令の基準に適合しているものです。

カセットコンロの正しい使い方

手軽に持ち運びができ、食卓で鍋を囲んだりするのに大変便利な調理器具ですが、間違った方法で使用するとう火災につながる危険があります。

正しい使い方

- ・IH調理器具の上に置いて使用しない。



- ・カセットコンロ専用のガスボンベを使用する。
- ・調理以外の用途（木炭や練炭の火起こしなど）に使用しない。

- ・高温となる環境下では、ガスボンベが爆発する恐れがあるため、カセットコンロを複数台並べて使用しない。また、暖房器具のそばなどの高温になる場所には置かない。
- ・テントや車内では使用しない。
- ・廃棄の際はガスボンベのガスを使い切ってから取り決めに従って廃棄する。

- ・ガスの再充填はしない。
- ・カセットコンロは正しく使用しましょう。